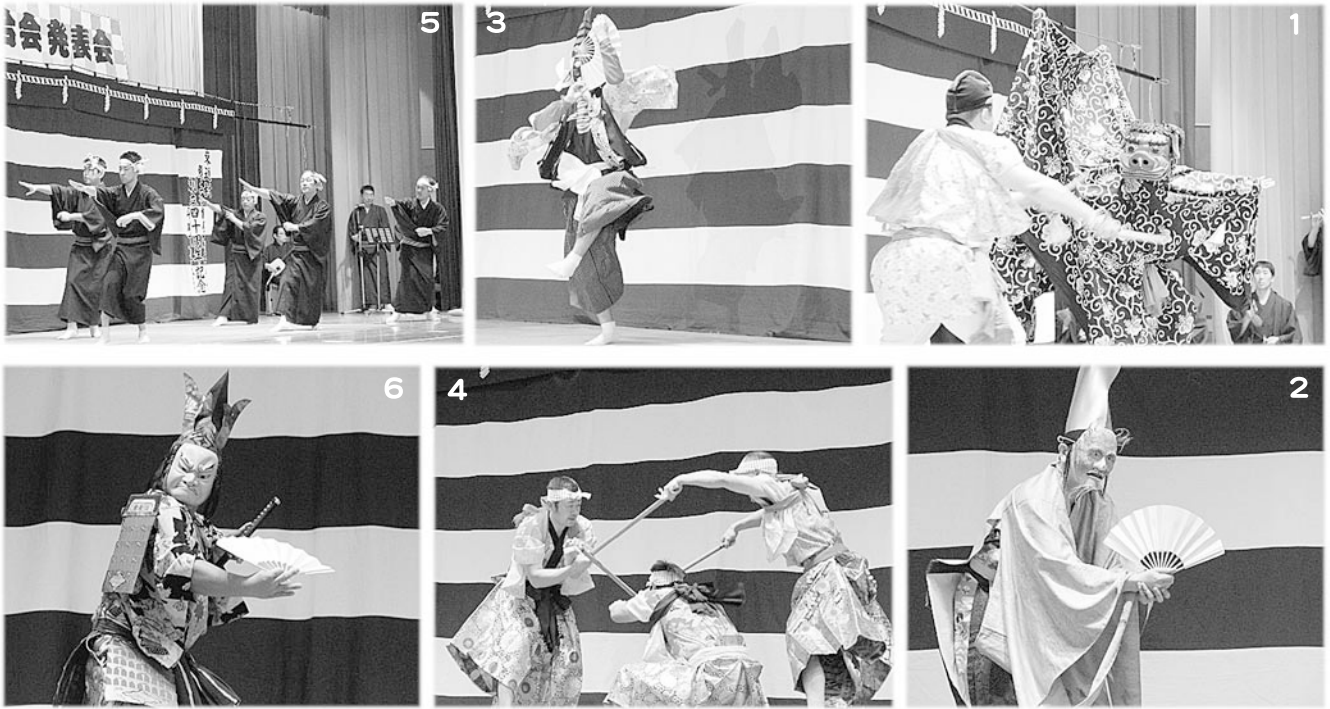


# 会発表会連合保存能芸

1月10日、東通村体育館を会場に第49回東通村郷土芸能保存連合会発表会が開催されました。

発表会は老部敬神会の「平獅子」で幕が開けられ、村内各地の13団体が、それぞれ受け継いできた伝統の芸能を披露しました。

東通村には、中世芸能の面影が色濃く残る「能舞」をはじめ、「獅子舞」「神楽」等が傳承されています。これら伝統芸能の保存継承に努め、地域振興に大きく貢献しているとして、東通村郷土芸能保存連合会は昨年11月に「地域伝統芸能大賞」を受賞しました（先月号広報に掲載）。以上の席で越善和彦会長は、「このような受賞に奢ることなく、今後も、皆様と共に、東通村の伝統芸能を留まることなく広めていきたい」と、保存会発足50年を前に感謝と決意を述べました。訪れた観客は地域に息づく伝統芸能の妙に魅了されていました。



## 穏やかな小正月を 伝統行事と共に迎える

1月15日から16日にかけて、村内各地で小正月の伝統行事が行われました（裏表紙も参照）。

毎年15日からは村内各地で「田植え餅つき踊り」が行われています。「田植えもちつき踊り」は各地区の婦人会を中心に傳承されているもので、艶やかな衣装に身を包んだ女性たちが集落内を門付けして回ります。

近年では民俗芸能としての価値や雪景色に映える艶やかな姿が評判となり、村外から観賞に訪れる方も多くなってきました。

この2日間もたくさんの観光客やカメラマンが訪れましたが、婦人会の皆さんは賑やかに丁寧に声がけをしながら各戸で門付けし、今年一年の豊作や家内安全を祈願していました。女性らしい細やかな気配りも

